



京都大学

設置期間 2020年4月～2023年3月

寄附者 JOHNAN株式会社



スタートアップエコシステムの構築 ～100年続くベンチャーが生まれ育つ都を創る～



教員

教授	山田 仁一郎	特定助教	柳 淳也
客員教授	若林 靖永	客員准教授	山川 賢記
客員教授	今庄 啓二	特命講師	上野 敏寛
客員教授	竹林 一	研究員	並木 洲太郎
特命教授	山本 光世		

目的

本講座の目的は、新商品開発の試作から量産に至る製造一貫支援をグローバルレベルで提供する、京都地域開発に関する研究・教育と啓発です。本講座では、商品開発ならびに起業に焦点を当てた事業デザイン、試作を含めたプロダクト・リアライゼーション、さらにはインキュベーションとアクセラレーションを含めた「産業エコシステム」を、グローバルレベルかつ京都に相応しい形で実現すべく、実践的な研究を進めます。同時に、そのような動きを先導する起業家にはどのような資質・能力が必要で、それらをいかに具備させるべきかについても実践研究していくことを狙いとしています。

講義協力 ◎ 事業デザイン論

活動紹介

本寄附講座は 2017 年 4 月～ 2020 年 3 月に実施された第 1 期での成果を踏まえ、第 2 期として「100 年続くベンチャーが生まれ育つ都を創る」ことに寄与する以下 4 つの事業を行う。

① 100 年続くベンチャーが生まれ育つ都研究会事業

100 年続くベンチャーが生まれ育つ都を創る必要十分条件はなにかを研究し、その要件を実践する事業。月に一度程度（原則第 3 月曜日）各テーマの専門家を招聘し研究会を行い、その成果をもとに学術論文や学会での発表を目指す。2020、2021 年度は、ZOOM や YouTube を活用し、毎回 300 名前後の参加者を集めた（実施したテーマ例：エフェクチュエーション、宗教とイノベーション、ティール組織、京都試作ネット、起業家等）。

② 次世代 HRC（Human Robot Collaboration）生産システム研究会事業

人とロボットがお互いを認識して一緒に作業をすることを「協働」と定義し、人とロボットが協働する生産システムを実証的に検討していく。期待される研究成果は、将来の生産システムの具体的ビジョン提案、生産現場での検証に向けたフレームワークの提示のみならず、政府機関に対する政策提言、研究内容に関わる論文発表及び学会報告を目指す。

③ エフェクチュエーション教育プログラム企画運営事業

起業家教育において、エフェクチュエーションに特化した教育プログラムを開発し運用する事業。経営管理大学院において 1 年に一度半期で「事業デザイン論」の授業を運営する。将来的には、その成果をもとにエフェクチュエーションを活用した起業家教育のプログラムに発展させることを企画する。

④ 京都ものづくりバレーシンポジウム

年 1 回程度、キースピーカーとして世界的著名人も招聘し（2021 年度は、エフェクチュエーション理論の提唱者である、バージニア大学サラス・サラスパシー教授）、各年度の活動報告、総括と意見交換を行う。



100 年続くベンチャーが生まれ育つ都研究会



2021 年度シンポジウム

京都ものづくりバレー構想の研究と推進 (JOHNNAN) 講座



京都大学

設置期間 2020年4月～2023年3月

寄附者 JOHNNAN株式会社

スタートアップエコシステムの構築 ～100年続くベンチャーが生まれ育つ都を創る～



教員紹介

①専門分野 ②担当科目 ③経歴

山田仁一郎 教授

- ①アントレプレナーシップ、経営戦略、組織論
- ②Business Development、経営学研究法、アントレプレナーシップ論
- ③北海道大学大学院経済学研究科博士課程修了。経営学博士。香川大学経済学部専任講師、助教授や英国・クランフィールド大学マネジメントスクール客員研究員、フランス・ポルドー経営大学院客員教授、九州大学客員准教授、大阪市立大学大学院経営学研究科教授などを経て、2021年より京都大学大学院経済学研究科教授。著書『大学発ベンチャーの組織化と出口戦略』(2015年・中央経済社)は、平成28年度日本経営学会賞を受賞。共著に『アントレプレナーシップ入門ベンチャーの創造を学ぶ』(2013年・有斐閣)など。

Message

社会と組織の変化を理解するために、アントレプレナーシップの視点は見晴らしが良いです。組織の誕生から流転まで、経営戦略と倫理・哲学、企業統治の観点からとらえ直すと、ビジネスリーダーとしての選択肢が大きく広がります。定石を知り、良い意味で裏切りましょう。

【連絡先】yamada.jinichiro.4t@kyoto-u.ac.jp

若林靖永 客員教授 (佛教大学教授)

- ①マーケティング、流通、商業
- ②マーケティング、クリティカル・シンキング、現代マーケティング、事業デザイン論、ビジネスリーダーシップ・サービス&ホスピタリティワークショップ
- ③京都大学経済学部、京都大学大学院経済学研究科修士課程、同博士後期課程退学。博士(経済学)。京都産業大学経営学部専任講師、京都大学大学院経済学研究科教授、京都大学大学院経済学研究科教授を経て、佛教大学社会学部教授。その間、京都大学経営管理大学院院長、京都大学経営管理大学院附属経営研究センター長。現商品開発・管理学会事務局長、NPO法人教育のためのTOC日本支部理事長など。

京都大学経済学部助教授、京都大学大学院経済学研究科教授、京都大学大学院経済学研究科教授を経て、佛教大学社会学部教授。その間、京都大学経営管理大学院院長、京都大学経営管理大学院附属経営研究センター長。現商品開発・管理学会事務局長、NPO法人教育のためのTOC日本支部理事長など。

Message

市場創造型の新規事業の展開、成熟市場での既存事業の再成長、進出国・地域に合わせたグローバル展開、ソーシャルメディア等のデジタルがもたらす顧客行動の変化への創造的対応など、ビジネスリーダーシップを実現するためのマーケティングの革新について、ともに構想していきましょう。

【連絡先】y-wakabayasi@bukkyo-u.ac.jp

今庄啓二 客員教授

- ①ベンチャーファイナンス、新規事業開発、経営戦略
- ③京都大学工学部合成化学科卒。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了(MBA)。鐘淵化学工業(現カネカ)で電子材料の研究開発、新規事業開発を担当後、フューチャーベンチャーキャピタルにて投資担当者等を経て、2011年代表取締役社長。2017年会長退任。現在、内田洋行、大阪油化工業、JOHNNAN 社外取締役。関西学院大学大学院客員教授等。

Message

大手メーカーでの研究開発、新規事業開発担当及びベンチャーキャピタリストとして各15年以上、さらに上場企業経営者としての経験をもとに、ベンチャー創出、オープンイノベーションの仕組みを再考察し、本講座を通じ、京都を世界に羽ばたく「ベンチャーの都」とする方策を探りたいと思います。

【連絡先】imajo.keiji.4w@kyoto-u.ac.jp

竹林一 客員教授

- ①ビジネスモデル・マーケティング、モチベーション・マネジメント
- ③大阪電気通信大学情報工学科。立石電機(現オムロン)入社。流通・鉄道業界の大型プロジェクトPM、新規事業推進。以後、オムロンソフトウェア代表取締役社長、オムロン直方代表取締役社長、ドコモ・ヘルスケア代表取締役社長、オムロンイノベーションセンター長を経て、オムロンイノベーション推進本部シニアアドバイザー、一般社団法人データ流通推進協議会理事等を務める。

Message

従来型の延長線上には、もはや大きなビジネスチャンスは残されていません。事業構造を見直し、新たな世界観を創り出す時代。オープン・イノベーションの本質、AIを含めた最新技術を理解した上で、「新たな仕組みを構想する力」が重要です。本講座を通じて構想する力を磨き、新たなものづくりの仕組みを京都から発信していきましょう。

【連絡先】takebayashi.hajime.6x@kyoto-u.ac.jp

山本光世 特命教授

- ①企業経営全般、リーダーシップ、全社戦略・事業戦略、事業継承・事業変革
- ③同志社大学神学部卒。米国ミシガン大学ビジネススクール卒MBA、同大学自然資源環境大学院卒MS。ベンチャー支援会社にて経営コンサルティング、新規事業開発を経験。その後、2010年にJOHNNAN株式会社代表取締役役に就任、現在に至る。一般社団法人京都試作ネット副代表理事。

Message

企業経営における理論の学びと実務を約20年間行ってきました。機会と脅威に晒されながらも、企業を変革させ社会に必要なとされる器に育てる醍醐味が経営にはあります。エフェクチュエーションは現代及び未来において、事業家に益々必要とされる能力でしょう。皆様と一緒にその能力を本講座で高め合うことを楽しみにしております。

【連絡先】yamamoto.mitsuyo.45m@st.kyoto-u.ac.jp

柳淳也 特定助教

- ①クリティカル・マネジメント・スタディーズ、ダイバーシティ・マネジメント
- ③大阪市立大学経営学研究科前期博士課程・後期博士課程修了。博士(経営学)。2014年に任意団体を設立し、関西を中心に子どもや教職員、自治体、企業向けにLGBTQを含むダイバーシティ研修を幅広く手掛ける。大阪府立大学高等教育推進機構にて特認助教を務め、現職に至る。

Message

様々なジェンダー、セクシュアリティ、エスニシティ、障害、経済状況を持つ人々と、私たちは既に一緒に生きています。私たち自身が、私たちとどこかで繋がっている重要な他者と共に、生き延び、よりよい生を追求するために、多様な背景を持つ人々の知や経験を学び、蓄積していきましょう。

【連絡先】yanagi.junya.7y@kyoto-u.ac.jp

山川賢記 客員准教授

- ①M&A、事業継承、企業会計
- ③公認会計士。監査法人トーマツ、京都の税理士法人を経て、山川会計事務所を設立。

Message

監査法人、税理士法人にてM&A、上場企業監査、IPO支援、税務申告業務を経験して参りました。事業継承及びM&Aを通じ、ベンチャーを育て次世代へ承継していく仕組みを探求していこうと考えております。

【連絡先】yamakawa.masaki.8w@kyoto-u.ac.jp

上野敏寛 特命講師

- ①地域経済学、地域産業システム、中小企業経営、地域政策
- ③龍谷大学経営学部、龍谷大学大学院政策学研究科修士課程、同博士後期課程修了。博士(政策学)。龍谷大学地域公共人材・政策開発リサーチセンター(LORC)嘱託研究員等。

Message

先進国製造業の経営戦略・事業展開に寄り添い、経営学や地域経済学の視点から、人とロボットが協働する生産システムの開発、地域産業システムや起業家エコシステムの発展について研究と実践を行います。皆さんと一緒に価値創造できることを楽しみにしております。

【連絡先】ueno.toshihiro.67z@st.kyoto-u.ac.jp

並木 洲太郎 研究員

- ①地域経済政策、都市政策、ソーシャルビジネス
- ③横浜国立大学経済学部卒、龍谷大学大学院政策学研究科博士課程修了。博士(政策学)。龍谷大学ユネスコソーシャルビジネスリサーチセンター研究員、同・地域公共人材・政策開発リサーチセンター客員研究員、全国盲ろう者協会評価委員等。

Message

地域経済の視点から、地域における「新しい仕事」や「働き手」の創出について研究しています。地域社会・地域経済の担い手としての企業家やソーシャル・ビジネスに注目しており、担い手の創出を通じて地域社会の諸課題を有機的・統合的に解決し、インパクトを生み出していく方法について本講座の活動を通じて構想していきたいと思っております。

【連絡先】namiki.shutaro.8z@kyoto-u.ac.jp